

令和4年度 第2回保護者の皆様による学校評価 まとめと見解

八王子市立小宮小学校

校長 安藤 臣一

孟春の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に際しましてご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、2月にご協力をいただいた今年度の「第2回保護者による学校評価」についてその結果をまとめましたのでご報告いたします。皆様にはご多用の中、ご意見を寄せてくださり本当にありがとうございました。皆様からいただいたご意見は今後の学校運営に反映させ、さらに充実した小宮小学校を目指してまいります。

【1】実施時期 令和5年2月14日～2月20日

【2】回答率 児童数 525 回収数 349 回答率 66.5%

【3】各項目結果のまとめ

A…あてはまる B…だいたいあてはまる C…あまりあてはまらない D…あてはまらない E…わからない (第1回目比較)

No.	評価項目	AB 評価率	CD 評価率	E 評価率
1	学校・学年・学級の目標や、重点テーマ目標「伝える！ つなげる！ ゴースマイル！」を知っている。	89% (+2)	5% (-1)	6% (-1)
2	学校は保護者に対して適切に情報を提供している。(学校便り・学年便り・学級便り・ホームページ等)	92% (±0)	6% (-1)	2% (+1)
3	学校は、地域の方やお家の人から学ぶ活動「畑での栽培活動、読み聞かせ等」に取り組んでいる。	91% (-4)	5% (+2)	4% (+2)
4	分かりやすい授業が行われている。	86% (±0)	7% (±0)	7% (±0)
5	学校は授業において、説明、板書、発問、視聴覚機器（ICT機器）の活用等の工夫に取り組んでいる。	84% (+2)	6% (±0)	10% (-2)
6	学校の子供に対する作品・ノート・新聞・テストの採点等の評価は適切・公平である。	84% (+2)	6% (+4)	10% (-5)
7	学校は子供の将来の進路や職業について適切に指導している。	52% (+5)	16% (+3)	32% (-3)
8	子供の学級は落ち着いている。	75% (-2)	20% (+9)	5% (-7)
9	学校は子供が自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動することができるような教育を進めている。	83% (-2)	9% (+3)	8% (-1)
10	学校は子供の生活指導（挨拶・言葉遣い・学校のきまり等の指導）に取り組んでいる。	86% (±0)	9% (+2)	5% (-2)
11	学校は教室を整理整頓し、子供と一緒に清掃活動に取り組んでいる。	89% (+1)	6% (+1)	5% (-2)
12	学校はいじめに適切に対応し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。(子供へのアンケート実施・子供の話を聞き相談にのる、保護者・関係機関と連携している)	80% (±0)	8% (±0)	12% (±0)

13	ご家庭では、早寝・早起き・朝ごはんに努め、挨拶・しつけを定着させている。	86% (-4)	13% (+4)	1% (±0)
14	お子様は、家庭学習に取り組み、習慣として身につけている。	75% (-5)	24% (+6)	1% (-1)

【4】項目別評価についての見解

① 学校目標・情報公開 (No.1, 2) について

AB 評価率は、高い水準で維持されており、保護者の皆様に本校の教育目標や情報公開についてよく理解されているものと受け止めました。特に今年度より始めた「KDD」の取組はかなり理解されていて、とてもうれしいです。記述でのご意見でも「学校に安心して通わせられる」「自尊感情を高めてくれる」「楽しく通っている」等の肯定的なご意見が多く、ありがたく存じます。

次に「情報公開」については、「学校のホームページが楽しみ」と書いてくださるご意見が複数あり、AB 評価率も全ての項目の中で最も高く、ありがたく存じます。ただし、学級通信やデータベースでの情報発信に課題を感じておられる方がいらっしゃることがわかりました。情報発信は原則データベースで進めていきますが、情報量の多い通知や個人名が記載されている内容は、紙ベースで発行してまいります。また、「紙ベースコーナー」も継続してまいりますのでご活用いただければと存じます。

① 学習指導 (No.3～No.7) について

No.7 以外は、AB 評価率が 80%以上と、おおむねご理解いただけていると受け止めました。ありがとうございます。ただし、記述でのご意見の中に「授業が速く進み理解ができていない」「分かるまで教えてほしい」等のご意見があるなど、個に応じた学習指導をさらに工夫する必要があると感じています。

また、No.7 の「進路や職業」についての評価は際立って下がっていますが、徐々に AB 評価率が高くなってきており、ありがたく存じます。引き続き進路に関する教育を保護者の皆様に伝えていく努力をしてまいります。

また、タブレットの持ち帰りについても、「子どもに負担ではないか」とのご意見をいただきました。次年度の都や市のコロナ対策等をふまえ、持ち帰りについても見直しをしていきたいと考えています。

② 生活指導 (No.8～No.12) について

落ち着いた学校生活、人権教育、あいさつや言葉遣いなど全般的に高い評価をいただくことができました。ただ、No.8 の「クラスの落ち着き」についての CD 評価率が 20%と学級の落ち着きや個々の児童への適切な指導について不安を感じておられる保護者が多くおられることがわかりました。子どもたちが安心して通うことができる学校づくりは何より優先されるべきことととらえています。そのために安心できる学年学級づくりを進めるとともに個々の子どもたちへの指導にあたっては十分に情報を収集し、納得とその後に見通しが持てる指導の在り方について再確認を行い、次年度に活かしてまいります。

③ ご家庭での学習や生活リズム (No.13, 14) について

ご家庭での生活習慣や学習習慣については、AB 評価率が若干低下しました。記述でのご意見でも「言わないとやらない。」等家庭学習に対する意欲の低下を心配されているお声をいただきました。学校としては、「学習は自分のために自分がするもの」とあるという意識を様々な場面で児童に伝えながら、粘り強く指導していきたいと考えております。

※自由意見としていただいたご意見については、一つ一つ確認し、今後の学校運営に活かしてまいります。